

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和5年6月30日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 東京都港区南青山 3-1-30
団 体 名 特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル
代表者職・氏名 理事長 林 恵子
電話番号 03-6842-6766

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年度において当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第7号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第7号 別紙2）

(様式第7号 別紙1)

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

団体名 特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル

1 事業実施期間 2022年 4月 1日から 2023年 3月 31日まで

2 事業の成果（県民の便益にどのようにつながったのかについて記載）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

親を頼れない子どもたちが暮らす児童養護施設を巣立った若者に対し、退所した後の実態調査を行い、施設入所中、退所後の生活状況、必要な支援について調査分析し、関係者（行政や児童養護施設職員）への報告を行った。彼らが地域社会で暮らすにあたってサポートする社会人ボランティアの育成や彼らの巣立ち後の経済的負担を軽減するための生活必需品仲介を実施した。以上の施策により親を頼れない若者が抱える不安や孤立感を解消し、巣立ち後の自立が安定していくよう、今後も継続して事業を行なっていく。

3 寄附金を活用して行った事業の実施に関する事項

(1) 今年度寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合はGCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 退所後実態調査事業	児童養護施設を退所後の実態を詳細に把握する	(A)2022年4月— 2023年3月 (B)佐賀県 (C)4名	(D)佐賀県内の施設等を退所した若者 (E)20人	516
② ボランティア研修、人材育成	ボランティア活動をしていく上で必要な講義や研修会を開催する。	(A)2022年4月— 2023年3月 (B)佐賀市内、オンライン (C)3名	(D)佐賀県内の社会人ボランティア (E)3人	177
③ 巣立ちプロジェクト事業	退所後の引越しの手続きや金銭管理、危険から身を守る術など、一人暮らしに必要な知識、スキルを学びセミナー参加で貯めるポイントで家電・布団やスーツなど生活必需品をプレゼントする。	(A)2022年8月1日—2023年3月 (B)佐賀市 (C)3名	(D)佐賀県内の施設等で暮らす高校3年生 (E)17人	251

(2) 次年度繰越金が発生する場合、その活用見込み

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所	事業費の 支出金額 (単位：千円)
①		(A) (B)	

(様式第7号 別紙2)

収 支 決 算 書

区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	1,000,000	
	助成金	0	
	収入 計	1,000,000	
支 出	●退所後実態調査事業		
	人件費	300,600	スタッフ3名人件費
	外注費(調査分析)	9,900	
	旅費(交通費、宿泊費)	173,010	スタッフ2名出張費
	謝金	33,000	アンケート協力者へのギフト券
	●ボランティア研修事業		
	人件費	100,200	講師外注費
	旅費(交通費、宿泊費)	69,508	出張費
	通信費	7,956	通信費
	●巣立ちプロジェクト事業		
	人件費	69,600	
	物品購入費	106,276	購入費
	旅費	75,650	若者への送付、アウトリーチ費用
	返礼品等の調達に係る費用	30,300	
	返礼品等の送付に係る費用	0	上記に含む
	ふるさと納税の広報に係る費用	0	
ふるさと納税の事務に係る費用	24,000		
支出 計	1,000,000		

○GCF を行った場合は、GCF の事業単位で支出を区分して記載してください。その他の事業についてもできるだけ事業単位で記載してください。

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。